



ビリニウス

こんにちは！

ヨーロッパ大陸の心臓部、欧州のおへそ(地理的な中心地からは26kmほど離れています)、ビリニウスへ(#GoVilnius)ようこそお越しくださいました！リトアニアの首都・ビリニウスは人口62万人ちょっとのこじんまりとした居心地の良い街です。しかし同時に、由緒ある歴史と経済的・文化的に豊かな生活を誇る自慢の都市でもあります。そのすべてを、この地図をご紹介します。

リトアニア大公・ゲディミナスが1323年に初めて持ち込んで以来、何世紀の間様々な文化や民族・国籍の者たちによって、ビリニウスは建設・整備されてきました。そのためビリニウスの旧市街と中心部の通りの1つ1つに物語があるのです。この物語はリトアニア語、ポーランド語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語、日本語など、ありとあらゆる言語で書かれました。



ユネスコによる認定

360ヘクタール以上の広さを誇るビリニウスの由緒ある旧市街は、中欧・東欧最大の旧市街の1つで、1994年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。ビリニウスは13世紀から18世紀末までリトアニア大公国の政治的中心地であり、東・中央ヨーロッパにおいて文化的、建築的発展に大きな影響を与えました。街路や街の一部が破壊された過去もありましたが、現在でもゴシック、ルネサンス、バロック様式などの古典的な建築物と中世のデザイン、そして自然を合わせ持つ印象深い建築群が今でも残っています。

サイクリストのための自転車

ビリニウスを手軽に回りたいならオレンジ色の自転車便利です。4月から10月の間は、市内の37か所に設置されている300台以上の自転車を利用することができます。詳しくはwww.cyclocity.ltをご覧ください。

公共交通機関

ビリニウスの公共交通機関の主力はバスとトロリーバスです。ご利用には、「ビリニウス」カードか、すべての公共交通機関で使用できる「リベイドカード」/「ビリニウス」カード(「ビルネチョ」/「コレ」)が便利です。このカードはスーパーや売店で購入可能です。バスの乗車券は車内のドライバーから1ユーロで購入でき、1回の乗車(一度バスを降りるまで)有効です。バス/トロリーバスの時刻表はこちら: www.stops.lt/vilnius タクシー会社も複数ありますが、CityBeeの運営するカーシェアリングやUBERのような新しいサービスを利用することもできます。

お役立ちリンク集

- www.vilnius-tourism.lt
- www.vilnius-events.lt
- www.facebook.com/govilnius.lt
- https://www.instagram.com/govilnius/



食事

伝統的なリトアニア料理では何よりも旬ものが大事にされています。私たちの祖先は、春と夏には牛乳や乳製品、魚や野菜、キノコ、パン、バーニ生地で作られたものを好んで食べました。肉は根菜と同様に冬の食べ物だと考えられていました。ビリニウスにはこの美しいリトアニア料理の伝統を守り伝えているレストランが数多くあります。この地図ではそのうちのいくつかをご紹介します。また、数々の国際色豊かな料理も提供されています。後継ゴシック様式、ルネサンス様式、バロック様式の広々とした客室を時間をかけてご覧ください。夏にはこの中庭がコンサート会場としても利用されています。

お土産

お土産用にもう一つスヌーツクスを用意しておきましょう。リトアニアの伝統に興味がある人にお勧めするのは、ツリケーキ、スキンデス(リトアニア式のソーセージ)、カードチーズ、リンゴチーズ、ミール(世界で最も古いリトル・カボチャの一種)、ハーブティー、黒い小麦のパン、そして、琥珀とリネン(麻)。現代的なリトアニアのアクセサリやファッションデザインは無数の可能性を探るのもいいでしょう。さあ、今すぐ地図の「買い物」のページへ。

イベント

イベントのスケジュールはwww.vilnius-events.ltで確認できます。ビリニウスのイベントカレンダーは1月1日から12月31日までです。毎年開かれているステキなクリスマス・タウンは大聖堂広場で、最も大切な年中行事である3月初旬のカシューコ(Kaziuko)市場は何世紀にもわたって開催されてきました。夏は野外、野外音楽のシーズンは通常5月から、ユニークなフォーケ音楽祭「カピバカ」/「カウクリイ」の開催がその始まりです。クラシック音楽祭は、クラシックと現代音楽の愛好家には欠かせないイベントで、夏を通してコンサートが行われます。真夏のビリニウス「クリストヴァスの弟」は7月です。秋はジャズ、「ビリニウス・ジャズ」と「ママ・ジャズ」の2つの大規模なフェスティバルが開催されます。映画祭は一年中開かれています。最も重要なのは春の「キノ・ノヴァ」ササリス国際映画祭と、11月の「スカノラマ・ヨーロッパ映画フェスティバル」です。「カルチャー・ナイト」は毎年6月に行われます。開催中のビリニウスは「眠らぬ街」となり、すべてのギャラリーが開かれ、広場や庭園には音楽、パフォーマンス、様々なアートが溢れます。世界中的アートに参加必須の「ビリニウス・マラソン」の開催は9月、8月に行われる姉妹イベントの「ヴロマラソン」の予定です。



見どころ

- 1 杉原千畝記念碑**
Damenkainio g. 12
「Let the moonlight glance at the noble man, Consul of Japan in Lithuania, Chiune Sugihara (あの高潔な男を月明りで照らそう、リトアニアの日本領事、杉原千畝を)」これは1992年彫刻家の北川剛一とグラフィックデザイナーによって造られた記念碑に刻まれた言葉です。ワルシャワの「ゲッダ」博物館のホロコーストの展示(グリーンハウス)の庭で、この記念碑を見ることが出来ます。
- 2 杉原桜公園**
Uptis g. 4
国立アートギャラリーの近くのこの庭園は、毎年春に数千人の観光客を集めます。桜はリトアニアで最初に開花する植物の1つです。この場所は杉原千畝の生誕100周年を記念して2000年に日本政府がビリニウスへ贈ったものです。
- 3 リトアニア大公宮殿**
Katedros a. 4
リトアニア大公国(領土が黒海にまで及ぶ当時のヨーロッパの大国)の君主たちがいた大型堂広場にそびえる大きな宮殿は19世紀に建設され、1901年に破壊されました。1990年代のリトアニア独立回復と共に、宮殿再建の案が持ち上がりました。この荘厳な建築物は、リトアニアが歴史上に初めて登場してからちょうど1000周年、2009年に修復されました。後継ゴシック様式、ルネサンス様式、バロック様式の広々とした客室を時間をかけてご覧ください。夏にはこの中庭がコンサート会場としても利用されています。
- 4 ビリニウス大聖堂バシлика**
Katedros a. 2
聖スタニスラスと聖ブラディスラスに捧げられた教会はリトアニアカトリックの中心の教会で、主要な祝祭日には大きなミサが行われます。リトアニアがキリスト教化される以前、ここは古代リトルの神を祀る聖堂でした。大聖堂は戦火で壊滅しましたが、火災や戦争のめ何世紀もの間に繰り返し再建されました。今日私たちが目にする新古典主義の大聖堂は200年以上も前のものです。ソビエト占領下では、堂々と使われていたましたが、後にギャラリーとして利用されました。
- 5 ビリニウス大学**
Universiteto g. 3
1579年に設立された東ヨーロッパ最古の大学です。地下と中庭を迷子のように散歩するのも楽しいでしょう。20世紀のリトアニア美術の中で最も重要な作品の1つであるペトラス・レプナスの「シズネス・オブ・ザ・イーター」のプレス画も見えます。グリニウス旧市街で一番高くない(60m)聖ヨハネ教会の鐘楼にもぜひ足を運んでみてください。また、ここにはリトアニアの東洋文化研究の要であるオリエンタルセンターもあります。
- 6 リトアニア国立博物館**
Arsenolo g. 1
この博物館では、リトアニアの歴史のさまざまな側面を展示しています。前時代の農民の日常生活を詳細に説明した展示、そして何よりもおもしろいのは、2001年にユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作」に選ばれたリトアニアの十字架の手工芸とその象徴、についての徹底的な解説が紹介されています。
- 7 ウジュビス共和国**
Daupiu g. 4
独立国家を自称する芸術家たちのウジュビス共和国は、独自の憲法を約20の異なる言語に翻訳しています。この憲法が出来たプレートを見つければ、そこから個性と活気あふれるこのエリアの散策を始めてみませんか。
- 8 ナショナルアートギャラリー**
Konstitucijos pr. 12
モダン、ポストモダン、リトアニアの現代芸術を中心としたギャラリーで、魅力的な常設展示と共に人気の企画展示を見ることが出来ます。
- 9 テリア非博物館**
Vokiečių g. 4
ビリニウスの博物館ファミリーの末っ子、最も近代的なこの博物館が、あなたを15分間のタイムトラベルへと連れ出してくれます。これがビリニウス700年の歴史です！

- 21 ビリニウス・ギフト&スーベニア**
Vokiečių g. 4
蜂蜜、チョコレート、木製のおもちゃ、琥珀、リネン、リトアニアで一番おもしろいデザイン……はい、このお店が揃っています。
- 22 アンバークイーン(琥珀の女王)**
Didžioji g. 6
ここは琥珀と同じ歴史ある店ですが、とてもモダンな手法で琥珀を個性的な宝石に変身させます。
- 23 ステンドグラス工房/ギャラリー**
Stiklių g. 4-8
ステンドグラスとガラスのデザインギャラリーでは、有名なリトアニアのアーティストの作品を展示しています。ギャラリーにある作品はすべて販売されています。自分だけの特別なものを注文することもできます。
- 24 職業ギルド工房/ギャラリー**
Prancišionių g. 6
誰でも参加可能な陶器ワークショップでは、すべての工程を体験し、実際に自分で陶器や漆器を作ることができます。
- 25 ハーレス市場**
Pylimo g. 58
1906年に建てられた現在ビリニウスで最も古い市場。地元のとおり合は新鮮な肉や魚、新鮮な野菜や自家製チーズ、特選の牡蠣、ベーグル、新鮮なジュースなど、どれもこれも試す価値があります。
- 26 織機工房 ユラーテ**
Didžioji g. 20
織り機を中心とする小さな製造所では、純正リネンと革を古い本物の大型織機で織ったものを展示しています。シルクや麻は上品な織物とアクセサリを扱っています。
- 27 ローカルズ、LT**
Gedimino pr. 9
リトアニアの現代的な衣服、アクセサリ、インテリアデザインに興味のある方ははっつて行くのも面白いお店です。
- 28 ユリア・ヤヌス コンセプトストア**
Stiklių g. 7
リトアニアのトップファッションデザイナーの1人、ユリア・ヤヌス(Julija Janus)のフィッシュを扱えば、21世紀のアーバン・バルティックスタイルの本質を見ることが出来るでしょう。
- 29 ハウス・オブ・ナイーブ**
Didžioji g. 38
スローファッション、フェルトレード、時代を越えたオリジナルデザインがこのフィッシュの主軸。チョコレートのご用います。
- 30 リナス・ノルディック**
L. Stuklos-Gucevičiaus g. 13
リネンはリトアニアで作られる落ち着いた華やかさを持つファッションです。「リト」の伝統、美学、そして自然に対する愛は、リネンとしては語れません。
- 31 ザ・ワールハウス**
Universiteto g. 10
様々なお天気の時はお天気があなたの一歩の味方です。このお店では50年以上にわたるワールの生地、洋服、インテリアなどの商品を販売しています。

グルメ

- 32 チーズ・ジューガス・ハウス**
Aušros Vartų g. 3
Užupio g. 17
伝統的なリトアニアのハードチーズほどの段階で食べてもそれとわかる独特の風味を持っています。層を下ろして、ゆっくりとチーズそのものの味やチーズを使った数々の料理をご堪能ください。
- 33 クミーネ**
Totorių g. 21
Užupio g. 38
「ツリケーキ」はかつて修道士らによってリトアニアに持ち込まれた。現在は伝統的な菓子として人気です。少しだけ買って店内で味わうのもよし、ホールで買って帰るのもよし、また、ビルジュード・クオナ(Biržų Duona)社のパン屋は焼き立てのパンなどの試食には最適な場所です。
- 34 エルトリョ・ナーマス(エルトラスの家)**
Šv. Jono g. 2A
このユニークな家族向けレストランは伝統的なリトアニアの季節料理と現代の技術が共存しています。さて、今日はどんな食材がとれたのでしょうか？
- 35 スウィート・ルート(甘い根っこ)**
Užupio g. 22
「最小の美学」の島は、リトアニアの自然の美しい四季のリスムに合わせて常にバリエーションの取れたメニューを提供しています。食事は全て伝統的なリトアニア料理に由来するもので、食材は地元産の天然物を使用しています。
- 36 フォルト・ドヴァラス(要塞の館)**
Pilies g. 16
リベリナイは、赤、キノコやカード(菓実)が中に詰まった超巨大なジャガイモ団子です。リトアニアを訪れてこれを食べない人はいません。このレストランでは12種類の料理を提供しており、真正のリトアニア料理にはメニューに料理遺産の認証マークが付いています。
- 37 シュトルム・シュヴィートウリス**
Užupio g. 30
ビリニウスは海岸から300kmも離れている、なんて誰が言ったんでしょうか？シュトルマイ(Sturma)に来てクロウニョ(小さい海から運ばれたばかりの新鮮なリトアニアの魚をご堪能ください)。

- 38 スティックレイ・バブ**
Gaono g. 7
伝統的なバブが大好きなヒラリー・クリントンはここで二度も食事をしたとか！彼女を魅了したのは揚げたパンか、じゃがいものパンケーキか、それともリトアニア餃子か。
- 39 レイチャイ・バブ**
Stiklių g. 4
本格的なリトアニア料理だけでなく、ぜひ飲み物も！このパンにこのバブはぴったりです。地ビールとワインの選択の多さこそがこの店への自慢です。
- 40 ジャウグスマス**
Vilniaus g. 28
国内最高峰のシェフがオープンさせたこのレストラン「ジャウグスマス」が意味するのは「喜び」、真に自然なものによってたらされるものは「喜び」であることからその名が付けました。旬の食材、毎日変わるメニュー、オランダミッドジックで造られた自然派ライオン・セレクトが魅力です。



お出かけスポット/エンターテイメント

- 14 ウジュビス鍛冶屋ギャラリー/博物館**
Užupio g. 26-2
都会で鍛冶屋など見かけることのない今日、ヨーロッパにだけ残っている鍛冶屋のうちの一つがビリニウスにあります。展示は毎週火曜日ですが、他の日も訪れることができます。
- 15 ビリニウス陶芸工房**
Užupio g. 9/2-20
5000年前のバルトの陶器などが展示されています。陶工の作品を見せてもらったり、自分で作ってみることもできます。
- 16 現代芸術センター**
Vokiečių g. 2
次々と変わる展示はすべて、リトアニアの、世界の、重要な現代芸術家たちによるものです。1960年代のアートの生の観、アメリカ系リトアニア人ヨナス・メカスとユルギナス・マチュラスの残した遺産を誇るフルクサス・ルームではアートやデザインの書籍が数多く取り揃えられています。
- 17 リトアニア国立オペラ・バレエ劇場**
A. Venuolio g. 1
1974年に開かれた印象的なこの建物へ足を運べば、古典の傑作(妻と夫人、ラ・ボエーム、カルメンなど)のほか、才能溢れるリトアニア人たちの優れた作品を楽しむことができます。
- 18 リトアニア国立フィルハーモニック協会**
Aušros Vartų g. 5
クラシック音楽と現代音楽の美しいホールはビリニウスの中心部にあります。なんとここは20世紀を代表するバロック音楽の1人、ヤツヤハバ・フツツ(Ulasis Heifetz)が1909年にデビューした場所なのです！
- 19 M.K.チュルリョーニスの家**
Savičiaus g. 11
リトアニアで最も有名な画家音楽家が20世紀の初め頃ここで暮らし、仕事をしていました。旧市街にある彼のユニークな家が詰まった部屋を訪れてみてください。
- 20 アート・プリンティングハウス**
Šiladario g. 6
ソビエト時代のプロパガンダ紙「真実」の発祥の地は、今日リトアニアの現代演劇、ダンス、サーカスの中核を担う場所になっています。

